



お茶碗にご飯粒が付くと・・・、すっと取れると・・・？

～生きる知恵～

校長 出口 晴基

私が幼い頃、晩ご飯が終わる時に祖父が空っぽになったお茶碗の内側を見せ、ご飯粒がベタベタし箸で取りにくいことを言いながら「明日は晴れるな!」、逆にご飯粒がすっときれいに取れると「明日は雨だぞ!」と話していました。何を根拠にそう言っているのか全く理解できませんでした。しかし、不思議と当たっていました。祖父は、テレビの天気予報が外れることに文句を言っていたので、よく覚えています。

数年前の夏の夕方、ある学校で理科の授業の天気に関する研修会が行われました。校舎の二階の理科室から、実にきれいな夕焼けを見ることができました。じっくり観察していると、雲の形がゆっくりと変化したり、濃いオレンジ色が微妙に変わったり、今まで夕焼けをこんなにもしっかりと眺めたことがなかった先生方には、感動的な時間でもありました。講師の先生は「明日は晴れますね。」と研修会を終えました。研修後に見た天気予報では、翌日は雨の予報でした。「あれ～講師の先生は晴れると言っていたな・・・。」と明日の天気が気になりました。

さて答えです。瀬戸物のお茶碗は、湿度によってご飯粒の付き方が変わります。天候が崩れるときは湿度が上がります。お茶碗の湿り気が増し、ご飯粒が取りやすくなります。次に夕焼けです。天気予報は外れ、翌日は晴れでした。日本の天気は西から変化して行きますので、太陽が沈む西の方角に雲がないことで、上空の雲が照らし出されています。夕焼けの翌日は晴れることが多いのです。天気予報を見なくても、自然現象を五感で感じ考えて判断する。これは、自身の命や生活を守るため、身につけた知恵ではないでしょうか。

今の世の中、多くの情報がすぐに手に入ります。ちょっと前には考えられなかったことです。しかし、全ての情報が正しいとは言えません。取捨選択し、得た情報をどうとらえ思考し判断するかが大切でしょう。夏休みには、普段の生活では味わうことのできない多くの体験することでしょう。おじいさんおばあさん、人生の先輩から生きる知恵の話を聞くことも良いかもしれません。

「閉庁期間」のお知らせ

- ◆ 期間 平成29年8月7日(月)～16日(水)
- ◆ この期間、原則として職員は学校に不在となります。
- ◆ 緊急の場合は、北部学校教育事務所(944-5978)へご連絡ください。